



大銀杏

# 根 城



南部師行公

2019年度 第9号

八戸市立根城中学校 令和2年1月23日発行

## 学校評価アンケート（2学期）の結果のお知らせ

保護者の皆様のご協力に感謝いたします。アンケート11項目についての結果は以下のとおりです。項目ごとに1学期から2学期への推移も掲載しました。

＜生徒、保護者、教職員とも肯定的な回答（「よい」「ややよい」が8割を超えた項目＞

☆意欲的な授業 生徒（92%→95%↑）、保護者（82%→83%↑）、教員（89%→91%↑）

「主体的に学ぶ生徒の育成」を校内研の研究主題として研修を進め、11月に市中学校教育研究会の授業発表会を本校で行いました。生徒の学習ぶりが好評を博しました。

☆積極的な学級活動 生徒（86%→91%↑）、保護者（83%→84%↑）、教員（85%→91%↑）

学級や学校での生活に課題を見だし、自分たちの手で解決するために話し合いを実行し、リュック（学習道具等を学校に置いてリュックを軽くする）等の具体的成果がありました。

☆安心できる学校生活 生徒（90%→94%↑）、保護者（88%→90%↑）、教員（93%→100%↑）

日常の会話や観察、アンケート等から生徒の悩み等を早期に発見し、教職員の教育相談とスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーとの連携による対応を図ることができました。

☆生徒の努力を認める教職員 生徒（91%→93%↑）、保護者（88%→87%↓）、教員（88%→95%↑）

授業、行事、学校生活等で、生徒一人一人に関わりをもち生徒理解に努め、「NEJO LIFE」や作品等へのコメントや声かけ等を通して、生徒の成長や変化を認めることを意識してきました。

☆相談できる環境づくり 生徒（89%→92%↑）、保護者（86%→88%↑）、教員（78%→81%↑）

2学期は三者の肯定的な回答が8割を超えました。定期考査後に行うアンケートを基に、担任・養護教諭・スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー等の教育相談を実施しました。

☆生徒の活躍の場の確保 生徒（85%→91%↑）、保護者（89%→91%↑）、教員（67%→81%↑）

三者の数値が大変高くなった項目です。2学期は多くの行事等があり、生徒の活躍する場が多く設けられました。多くの生徒の様々な活躍が見る人の目に留まりました。

＜生徒、保護者、教職員のいずれかが肯定的な回答が8割に達しなかった項目＞

★明確な目標と計画を立てて実行 生徒（87%→91%↑）、保護者（59%→61%↑）、教員（74%→95%↑）

「NEJO LIFE」等を生活や学習の目標や計画を立てることを活用して実践しているところです。今後も生徒への意識化を進めるとともに、実践の結果等を保護者へ発信していきます。

★学習面でのサポート 生徒（95%→95%）、保護者（76%→77%↑）、教員（81%→91%↑）

生徒はサポートについて満足していますが、今後も実効性のある家庭学習方法や学習に苦手意識をもっている生徒への指導に工夫を凝らしていきます。

★家庭学習習慣の確立 生徒（75%→76%↑）、保護者（57%→56%）、教員（59%→57%↑）

この項目は毎年の大きな課題です。宿題等の出し方や一人学習の在り方について更に指導を工夫します。家庭では上手な時間の使い方、時間と場所の確保についてご協力をお願いします。

★将来の職業についての学習 生徒（83%→88%↑）、保護者（66%→72%↑）、教員（66%→72%↑）

職業調べ、高校調べ、職業体験等の学習、講師を招いてのキャリア教育講演会等を通して、自己理解と多様な価値観を基に将来のことについて考える意欲と能力の向上をめざします。

★いじめの防止 生徒（95%→93%↓）、保護者（75%→78%↑）、教員（93%→90%↓）

校内での情報提供・共有を徹底し、生徒、保護者への対応をきめ細かく丁寧に行うとともに、「いじめは許さない見逃さない」という方針のもと、毅然とした指導を行います。

※質問内容によっては、「判断材料がない」、「『よい』と評価する具体的な姿が生徒・保護者・教員で異なる」などの課題が残ります。来年度はその点を吟味したうえで実施します。

## 冬季国体に本校からも参加

第75回国民体育大会冬季大会スケート競技会・アイスホッケー競技会が、1月29日から2月2日まで、八戸市を中心に開催されます。大会名称は『氷都新時代！八戸国体』、大会スローガンは『銀盤にきたる新風 いま氷都（ここ）に』です。国内では3本の指に入る屋内スケート場「YSアリーナ八戸」を全国にPRできる絶好の機会でもあります。

ちなみに第1回国民体育大会冬季大会スケート競技会は、八戸市で開催されました。今回の国体には本校からも下記のような形で参加します。



国体開催にあたり、八戸市から「各中学校で参加都道府県を応援する幟（のぼり）を制作してほしい」と協力要請があり、本校には千葉県の応援が割り当てられました。それを受けて総合文化部美術コースの生徒が、千葉県の特色を生かした幟を6本作りました。特産品である落花生や果物のほかに、千葉県のマスコットキャラクターの「チーバくん」（右から3番目）も描かれています。（チーバくんは横向きにすると千葉県の形になります。詳しくはインターネットで「チーバくんの広場」をご覧ください。）

市内から集まった応援用の幟は、開会式や各競技会場において選手たちへのエールを送ります。